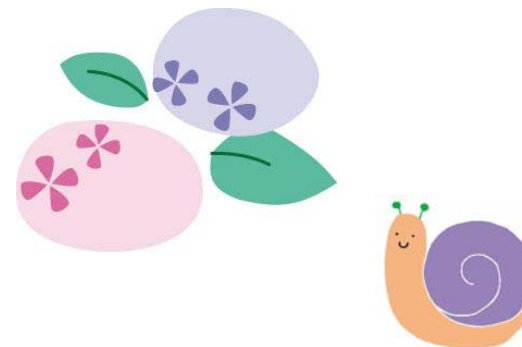


☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会にゅ～す♪

2009年5月27日 発行



三多摩薬害イレッサシンポジウム

ぜひご参加ください(^o^)

☆日 時☆ 6月13日(土) 午後2時～

☆場 所☆ 国分寺Lホール (JR国分寺駅 国分寺Lビル8階)

☆出演者(敬称略)☆

増山 ゆかり(財団法人いしずえ サリドマイド福祉センター常務理事)

水口 真寿美(弁護士 薬害イレッサ東日本訴訟原告団弁護団)

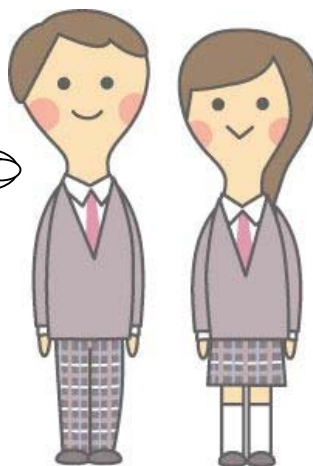
別府 宏圀(医師 医薬品・治療研究会代表、薬害オンブズパーソン会議副代表)

とりだまる
鳥集 徹(ジャーナリスト) 主催:「薬害イレッサ三多摩シンポジウム」実行委員会

学生さん達による朗読劇も行われ
ます♪♪

原告の方の訴えをもとに作られた
朗読劇です!!

どうぞご期待ください(*´▽`)/



～ イレッサとは ② ～

イレッサの添付文書を見ると「上皮成長因子受容体(EGFR)チロシンキナーゼ阻害剤」とあります。抗癌剤では「分子標的薬」と分類され、「癌細胞の増殖を促す部分的を絞って攻撃する⇒癌細胞のみを狙い打つ」というイメージを与えます。

副作用がひどくて、これまでの抗癌剤が使えない、でも癌が再発し、進行している…イレッサならその患者さんに応えられる薬です…本当?でしょうか。

イレッサが的として狙うEGFRは癌細胞以外の正常で大事な臓器の細胞にも広く存在しています。正常な細胞の働きにも悪影響を与えてしまうかも…という予想は容易にできるのです。

実際、臨床試験(厚労省が承認する前におこなう薬の有効性、安全性を明確にするいくつかの調査)で皮膚のできもの、下痢など合わせて、最低でも50%を超えて発現し、死亡者もいます。また、発売後、2004年の特別調査では、急性肺障害・間質性肺炎の発現は5.8%ですが、その死亡率は38.9%と高率です。

これだけの薬が「夢の新薬」として使われたのは何故なのでしょう?こんなにひどい副作用になることは知り得なかったから?効果がとてもあったから?

次回最後となりますが、薬害イレッサと言われる意味を考えていきたいと思えます。